

鶏肉情勢

平成30年9月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会8月下旬実施)によると、7月の推計実績は、処理羽数55,600千羽(前年比103.0%)・処理重量162.9千ト(同102.1%)となった。前月時点の計画では処理羽数は同102.9%、処理重量が同101.6%と見込んでいたが、中部および近畿・中国・四国以外の地区で処理重量が1.4~3.5%上回ったこともあり、当初見込以上の伸びとなった。種鶏の改良・飼養技術の向上等による体重増や廃棄率の減少(前年比0.24%減)等が要因と考えられるが、売れ行き不振と相まって在庫増に拍車を掛けたかたちとなった。 (2) 8-10月で、8月の処理羽数・重量は各地区ほぼ前年並みか前年を上回る計画、9月は曜日回りの関係による稼働日減少の影響で南九州地区の処理羽数(前年比101.1%)を除き前年を下回る計画、10月は出荷羽数の増加により処理羽数(同102.8%)・処理重量(同101.3%)ともに前年を上回る計画となっている。3か月でみた場合は若干の処理重量の増に留まる計画となっているが、猛暑・残暑で売れ行きの急な回復は望めないものの、年末を控えて在庫の消化を進めると考えられる。
	2. 輸入 (1) 財務省8月30日発表の貿易統計によると7月の鶏肉(原料肉)輸入量は、日本食肉輸出入協会の事前予測とほぼ同じで前月より2千ト多い45.7千トとなった。国別輸入量では、ブラジルが32.1千ト(前年比119.5%・丸鶏含む)、タイが12.4千ト(同109.9%)で、ともに前年を超えるペースとなっている。8月17日開催の鶏肉輸入動向検討委員会では、8月は41.0千ト(同78.8%)、9月は54.0千ト(同97.5%)と前年比で減少予測となっているが、上方修正されている。「ブラジルではストライキなどの影響が未だ残り、現地価格は強含みで推移しているが今後は徐々に落ち着きを取り戻し、またタイ産価格もブラジル産価格に引上げられているが、今後は落ち着いていくと考えられる。」とコメントしている。 (2) 鶏肉調整品の7月輸入量は前月より約5千ト多い45.9千ト(前年比107.7%)。中国が19.3千ト(同108.1%)、タイも26.4千ト(同107.4%)と大幅に増加している。月間の輸入量としては昨年11月(46.5千ト)・12月(48.2千ト)に続き過去3番目の多さとなった。今後も、唐揚げ・サラダチキンや串物等コンビニ・惣菜売り場向けの需要拡大は継続すると考えられ、この輸入拡大が精肉売り場などの様に影響するの注視が必要と思われる。
給	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、6月の全国一世帯当たりの生鮮肉消費(購入)数量は、4,022g(前年比107.7%)、金額も5,830円(同102.8%)と肉ブームもあり前年を上回った。うち鶏肉についても数量はむね肉需要の拡大等で1,366g(同106.8%)と前年を上回るも、金額は相場安で量販店等の特売で売価が下がったこと等により1,232円(同99.9%)と前年並みとなった。
	2. 量販・卸 (1) スーパー3団体によると「7月の畜産部門の売上高はバネル270社全店ベースで売上1,002億円で前年比1.7%増となり、生鮮3部門合計でも前年を上回った(同3.1%増)。牛肉は気温上昇により焼肉やステーキ用が伸びた地域と猛暑で伸び悩んだ地域がみられた。豚肉は冷しゃぶ、生姜焼き用等が好調であったが、輸入豚で単価下落した店舗もみられた。鶏肉についてはサラダチキン用のむね肉等が好調を維持しているものの、単価の下落で伸び悩んだ店舗も散見された。」との報告であった。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる6月度の鶏肉加工品仕向肉量は、引き続きサラダチキンや唐揚げの需要拡大等による国内製造拡大を背景に、前年比100.8%の4.49千ト。うち国内物は同95.6%の3.62千トと下回ったものの輸入物が安価なタイ産むね肉の使用増加等で同130.3%の0.87千トと報告された。国産むね肉価格が下落してきたが、規格のこともあり今後も輸入物の比率が上がる事が考えられる。
需	1. 30年6月 (1) 推計期末在庫は国産29.3千ト(前年比108.8%)、輸入品136.8千ト(同110.2%)合計166.0千ト(同109.9%)、前月比で7.0千ト減少となった。国内生産は処理重量が前月対比で3.1千ト減少し、輸入量も同3.2千ト減少したが、売れ行きが鈍かったため在庫は微減に留まった。推定出回りは、輸入品が前月並みも国産は3.1千ト増加した。
	2. 見通し (1) 7月は国産生産量は前月比で7.4千ト減少も、輸入量が1.1千ト増加する見込み。安い輸入チルドボークの出回りや暑さの影響等もあり依然として需要は弱含みと考えられ、出回量も減少するものと思われる。よって、在庫は引き続き高水準で推移すると考えられる。 (2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、8月は前月比で生産量が2.7千ト減少し、輸入量もブラジル中心に4.0千ト減少、出回量が7.7千ト増加することにより、国産・輸入品合計で12.5千ト減少の155.5千トで昨年8月以来の150千ト台になるとされている。また、9月は生産量1.6千ト・出回量10.6千トと共に増加、輸入量もブラジルが13千ト増加予測も期末在庫は8.5千ト減少の147.0千トで前年比でも91.0%と減少すると予測されているが、輸入チルドボーク等の輸入も相変わらず潤沢で、鶏肉については需要の弱さが気がかりである。
要	1. 8月動向 (1) 8月の平均相場は、もも肉539円/kg(前月比9円下げ)・むね肉263円/kg(同2円下げ)、正肉合計で802円/kgと前月比11円下げ、前年比で84円の下げとなった。もも肉は、下げ基調は変わらず一時534円を記録するも月初・月末がともに542円となり次月へ向け期待が高まった。むね肉は、引き続きサラダチキン等の需要は継続しており月初261円・月末264円と保合い圏内となった。
	2. 9月見通 (1) 気象庁によると前半は暑い日が続くが中旬以降は平年並みか低くなるとの予報から、学校給食の始まりや3連休も2度あるなど、需要回復に期待したい。以上のことから月平均で、もも肉は550円むね肉265円と予測する。

実績											
生産状況											
単位:千羽、千トン、%											
	H30年7月推計実績		H30年累計		H30年8月計画		H30年9月計画		H30年10月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	59,842	103.1%	418,513	101.9%	64,224	101.1%	62,179	97.4%	67,874	102.5%	
処理羽数	55,600	103.0%	401,529	102.7%	56,013	102.0%	54,788	99.4%	60,646	102.8%	
処理重量	162.9	102.1%	1,198.7	102.4%	162.3	101.4%	160.3	98.3%	179.2	101.3%	
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」											
輸入動向											
単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H30年4月	49.6	48.7	101.8	41.6	36.7	113.4	91.2	85.4	106.8	54.4	45.6
H30年5月	47.1	46.1	102.2	42.3	38.9	108.6	89.4	85.0	105.1	52.7	47.3
H30年6月	43.9	50.2	87.4	41.1	44.0	93.3	85.0	94.3	90.2	51.6	48.4
H30年7月	45.7	40.8	112.1	45.9	42.6	107.7	91.6	83.4	109.9	49.9	50.1
H30年累計	324.7	300.7	108.0	285.8	266.4	107.3	610.5	567.1	107.7	53.2	46.8
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」, 全国食鳥新聞											
消費動向(2人以上の世帯)											
単位:グラム、円、%											
消費動向(2人以上の世帯)						相場(年別・暦年)					
履歴	数量			金額				もも肉	むね肉	計	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比					
H30年4月	1,378	1,327	103.8	1,281	1,268	101.0		H24年	563	189	752
H30年5月	1,397	1,316	106.2	1,316	1,287	102.3		H25年	583	246	829
H30年6月	1,366	1,279	106.8	1,231	1,232	99.9		H26年	626	294	920
H30年平均	1,368	1,338	102.2	1,307	1,278	102.3		H27年	639	336	975
※参考資料:総務省統計局HP											
在庫状況											
単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H30年3月	28.4	23.1	123.2	148.1	112.7	131.5	176.6	135.8	130.0		
H30年4月	25.9	25.2	102.9	144.8	110.6	130.9	170.7	135.8	125.7		
H30年5月	30.7	25.9	118.5	142.3	116.5	122.2	173.0	142.4	121.5		
H30年6月	29.3	26.9	108.8	136.8	124.1	110.2	166.0	151.0	109.9		
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構											
相場(月別)											
単位:円、%											
品名	もも肉			むね肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H30年5月	585	645	90.7	282	337	83.7	867	982	88.3		
H30年6月	564	627	90.0	272	338	80.5	836	965	86.6		
H30年7月	548	587	93.4	265	328	80.8	813	915	88.9		
H30年8月	539	563	95.7	263	323	81.4	802	886	90.5		
H30年9月	(550)	560	98.2	(265)	324	81.8	(815)	884	92.2		
H30年10月	(560)	583	96.1	(270)	322	83.9	(830)	905	91.7		
H30年平均	602	640	94.1	287	313	91.7	889	953	93.3		
※()は見通し											
※1-8月平均											